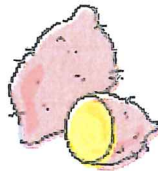
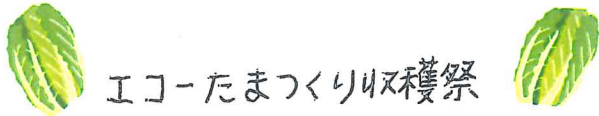


陽だまり



発行日 : 2019年 12月2日
 発行 : パルシステム 茨城 栃木
 かしまセンター委員会
 発行責任者 : センター長 小林
 問い合わせ : 0120-390-434

.....今後の予定.....

- 1月17日(金)おしゃベリカフェ
(フラワーアレンジメント)
- 2月17日(月) 鹿嶋パルの会
(かしまセンター)
- 18日(火) 神栖パルの会
(神栖市大野原コミュニティセンター)
- 3月10日(火) おしゃベリカフェ
(絵手紙教室)

センター広報紙の裏面にて募集いたします!

是非ご参加ください☺☺

11月16日に収穫祭に参加しました。
 天気は、良かったのですが少し肌寒い日で厚着して来たら作業が始まり、大根や人参、里芋を掘る頃には暑くなり、とてもいい運動になりました。

種まきの時期がうまくいかず、春菊や小松菜は小さかったのですか、タアサイは色も濃くつややかな葉っぱでとてもみずみずしかったです。

ラディッシュは、根だけ土に埋まっていてまるで土の上に置いたようにきれいに並んでいて引き抜くというよりはつまみ上げるだけで収穫できました。

白菜やキャベツも重く、ずらしりとしていて夕飯は早速鍋にして楽しみました。



『ごはん食べた?』という問いから考える社会 〜パルシステムグループ理事セミナーに参加して〜

法政大学の湯浅 規子教授が戦前から現代社会に至るまでの「食べる」という個人の行動を通じ人と人、人と社会がつながりあった歴史を講義して下さいました。大正時代には社会福祉法人の簡易食堂が誕生し、「ごはん食べた?」と問いかける社会がありました。それから戦争があり創食戦を克服した昭和を経て平成には個食も見えない貧困、フードデザート(食の砂漠化)が問題となりました。東南アジアや中国では「ごはん食べた?」が今でも挨拶になる国だそうです。食を通して他人の胃袋に語りかける行為は忘れられ、知れつつある。共在感と共食を共にする世界の意味を胃袋を通じて再び思い出し、さっかけになるだろうとのことでした。



11月 パルの会



恩納もずくのDVDを観て、もずくを育てる大変さや、手作業での収穫を学習しました。

「餃子にしよう!」を使って焼き餃子と白だしを使ったたっぷり野菜餃子スープとあらびきウィンナー、にらまんじゅう、恩納もずくを試食しました。

参加者からのアンケートでは「簡単に作れて、野菜の素材の味が生きていました。冷凍餃子でも美味しかった。」など好評でした。



おしゃべりカフェ第5弾



フラワーアレンジメント



今回は、講師に吉田様（草月流師範）をお迎えし、フラワーアレンジメントをおこないます。新しい年になり、気分も上げて楽しみましょう♪

生け花も日持ちするようになりいいですよね♡

みなさんのご参加をお待ちしております。



【開催日時】 1月17日（金） 10:00～12:00

【開催場所】 パルシステム茨城 栃木 かしまセンター

（住所：鹿嶋市下津 273-19）

【定員】 15名

※応募者多数の場合は抽選。抽選結果並びに詳細内容は、後日お知らせします。

【参加費】 800円（材料代として）

【持ち物】 エプロン・手差し花切り鋏があればお持ちください。

【託児】 お子様一人につき300円／定員3名

【締切日】 12月20日（金）



<写真はイメージです。>

【お問合せ】 パルシステム茨城 栃木 かしまセンター 活動専用フリーコール

0120-390-434（月～金 9:00～17:30）

※お預かりした個人情報、参加の集約や連絡の目的以外には使用いたしません。

※下記の申込書を注文用紙と一緒にわかりやすいように提出してください。

キ-リ-ト-リ

1/17（金）おしゃべりカフェ参加申込書

かしまセンター行き（12/20（金）×切）



組合員番号：

電話番号：

参加者名：

託児：お子さんのなまえ(ひらがな)

歳 ヶ月

男・女